

神照小学校からの報告

活動団体名： 神照小学校 生物クラブ

活動人数： 11 人（教員2名）

取組時間： クラブ活動

調査内容 1回目：10月23日（月） 神照町 鬼川

水生生物の調査を行う前に、水深や水温、気温、川幅、流速、pHなどを決めておいた役割に分かれて調査を行った。その後、タモ網やザルを使って水生生物の調査を行い、捕まえた水生生物は、バットに種類ごとに分けて同定した。悪天候のため、今年初めての調査になったが、どの児童も自分の任せられた調査をしようと張り切っていた。2～3日前に雨が降ったため、河川の様子を心配したが、少しの濁りはあるものの問題なく、調査をすることができた。

本来なら、同地点で春と秋で2度の調査を行い、比較するはずだったが、今回は1度しか調査を行えていないため、児童たちは河川の変化を感じるできない様子であった。しかし、初めての調査のため、河川の様子を注意深く観察しながら、例年よりたくさんの生き物を捕まえることができたように思う。



調査員の感想

魚を捕まえられてよかった。川が濁っていて生き物がいるようには見えなかったけれど、水草の下にはたくさん隠れていた。エビがすごくたくさん捕まえられた。水が冷たかった。気になるほどではないけれど、においが少しした。

捕まえた生き物たち

カワニナ、シジミ類（小型の二枚貝）、ヒル類、ヌマエビ、コオニヤンマのヤゴ、イトトンボ系のヤゴ、カワムツ、コカナダモ、オオカナダモ

調査のまとめ

今年は、観察日の天候が悪く、10月の観察しか行うことができなかった。例年と比べても気温、水温ともに高かった。水温が高かったためか、観察できた生き物も多く、活発に活動しているようであった。2～3日以内に雨が降った影響もあって、水は濁りぎみで流速も早かった。COD値は高く、2回の計測で1回目が「6」、2回目が「8」と2回とも例年より高い数値であった。また、少しではあるが、不快を感じるにおいが生じており、川の流れが速いため、泥などが巻き上げられてにおいを生じさせているようであった。カワニナやシジミ類などの貝類が非常に多く取ることができた。例年の生き物の種類は大きく変化していないが、採れる数が増えており、鬼川の豊かさを感じることもできた。



活動の様子



【川底の様子】



【川の中央の様子】



【生き物を探している児童】



【生き物を採取している児童1】



【生き物を採取している児童2】



【左岸の様子】



【鬼川の様子】



【右岸の様子】

